

平成28年5月29日(日)
18:00~20:00(予定)
仁川小学校 視聴覚室

都市計画道路 競馬場高丸線の都市計画変更の検討について

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 競馬場高丸線の都市計画変更の検討について

- ・路線の必要性について
- ・都市計画変更について(W=8m→14m)
- ・測量結果を踏まえた、都市計画変更(案)について
- ・前回説明会(H28.2.14)にて頂いた、ご意見に対する回答について
- ・今後のスケジュール

(4) 意見交換

(5) 閉会

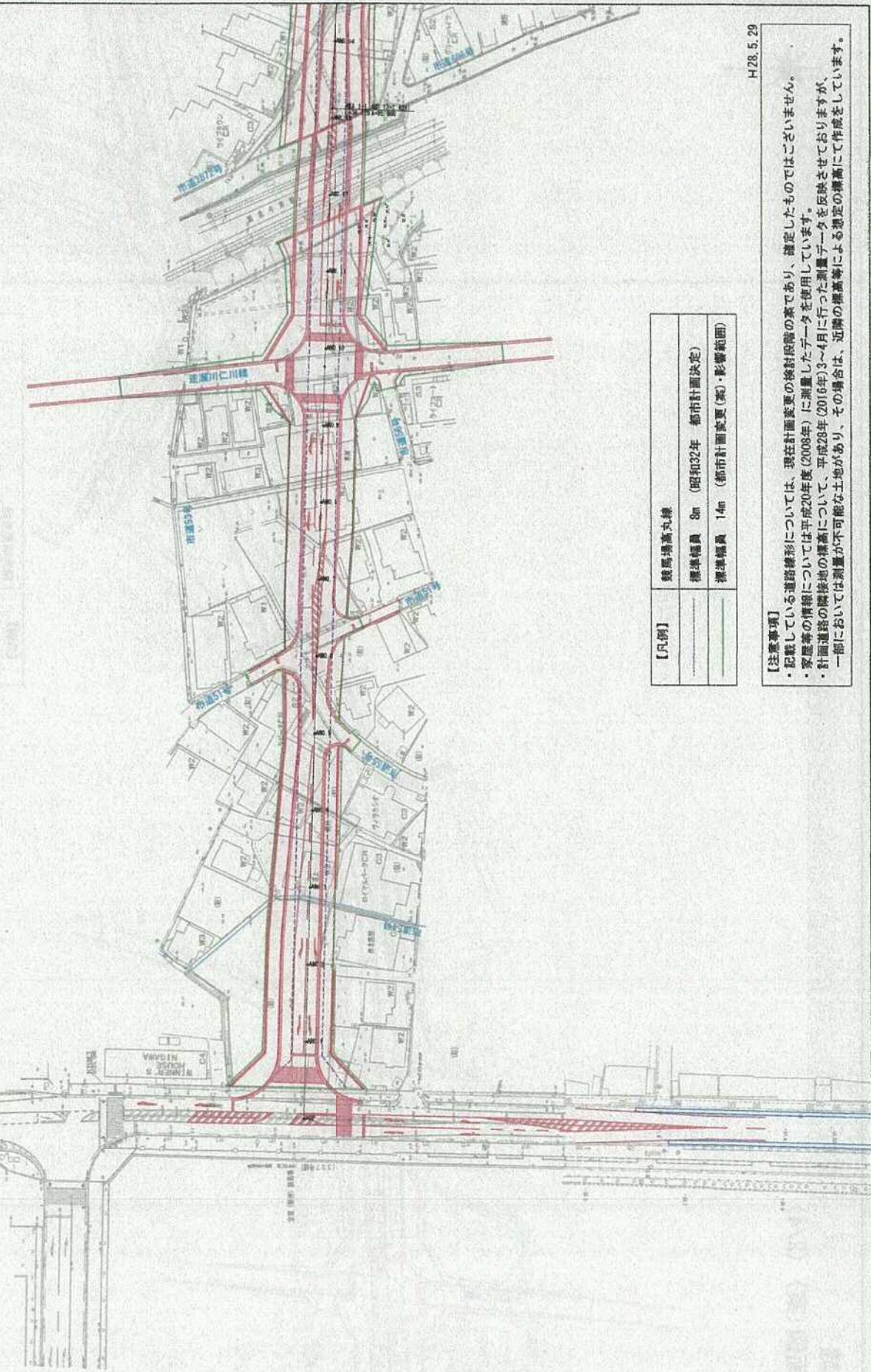
宝塚市役所 道路政策課
TEL 0797-77-2097
E-mail m-takarazuka0085@city.takarazuka.lg.jp

中 村 中 嶋 岸 本
松 笠 安 井

競馬場高丸線 位置図



競馬場高丸線 都市計画平面図(案) (1/4)

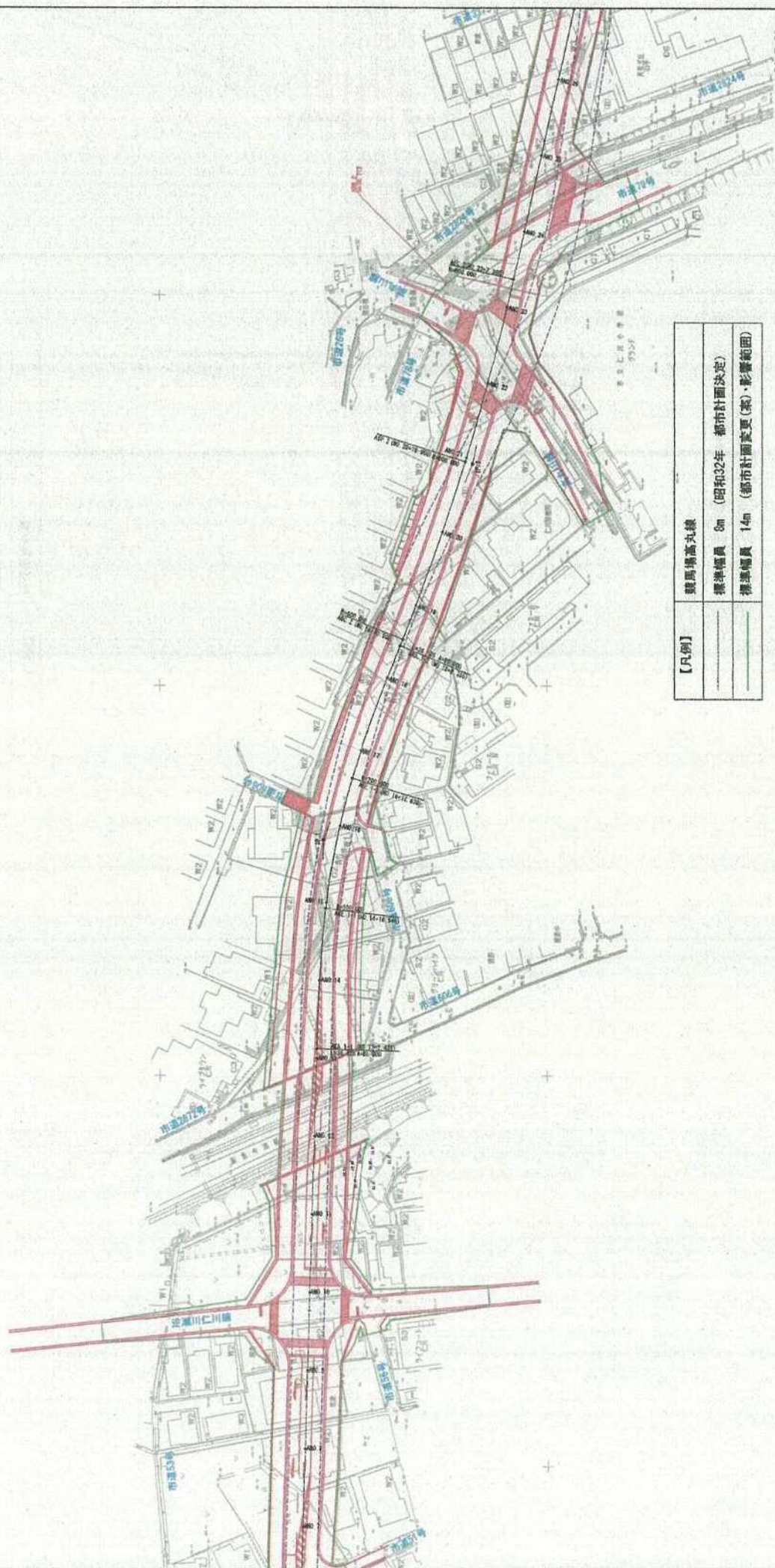


【凡例】	競馬場高丸線
標準幅員 8m	(昭和32年 都市計画決定)
標準幅員 14m	(都市計画変更(案)・影響範囲)

【注意事項】

- ・記載している道路線形については、現在計画変更の検討段階の案であり、確定したものではありません。
- ・家屋等の情報については平成20年度(2008年)に測量したデータを使用しています。
- ・計画道路の隣接地の標高について、平成28年(2016年)3～4月に行った測量データを反映させておりますが、一部においては測量が不可能な土地があり、その場合は、近隣の標高等による想定の高さにて作成をしています。

競馬場高丸線 都市計画平面図(案) (2/4)

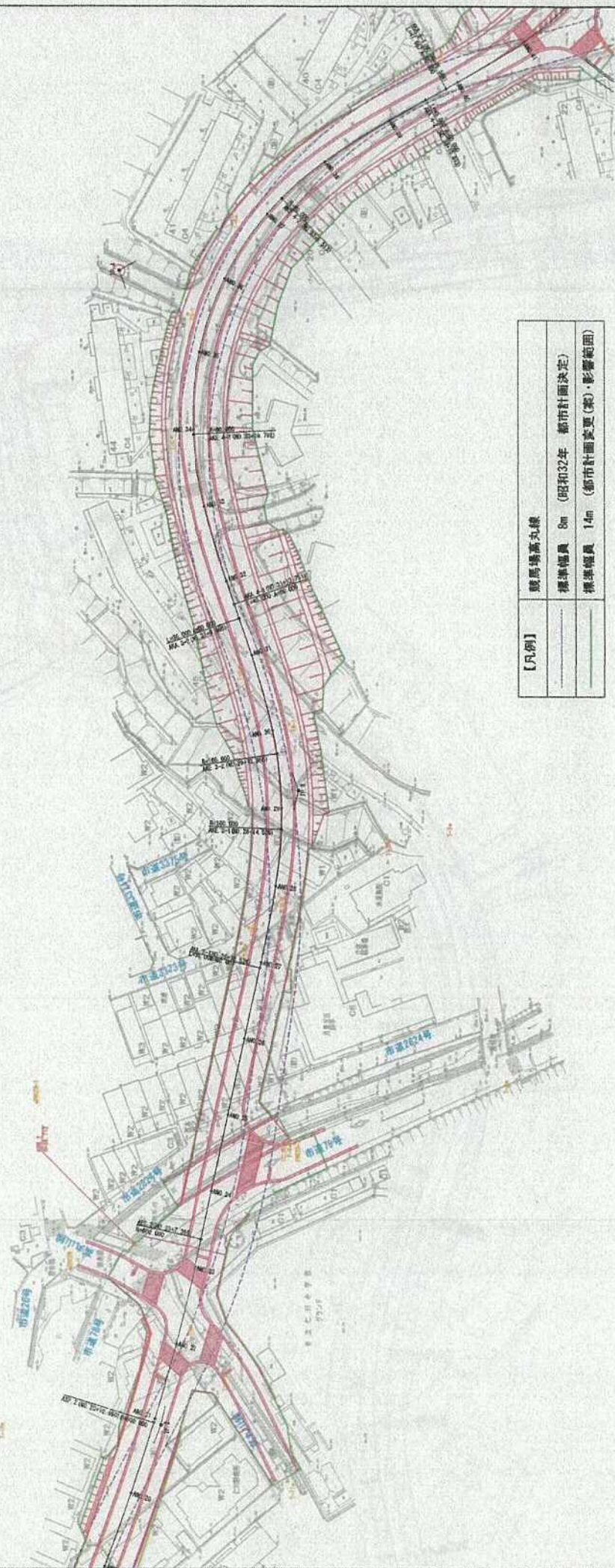


【注意事項】

- ・記載している道路線形については、現在計画変更の検討段階の案であり、確定したものではありません。
- ・家屋等の情報については平成20年度(2008年)に測量したデータを使用しています。
- ・計画道路の隣接地の街高について、平成28年(2016年)3～4月に行った測量データを反映させておりますが、一部においては測量が不可能な土地があり、その場合は、近隣の建高等による推定の建高にて作成をしています。

H28.5.29

競馬場高丸線 都市計画平面図(案) (3/4)



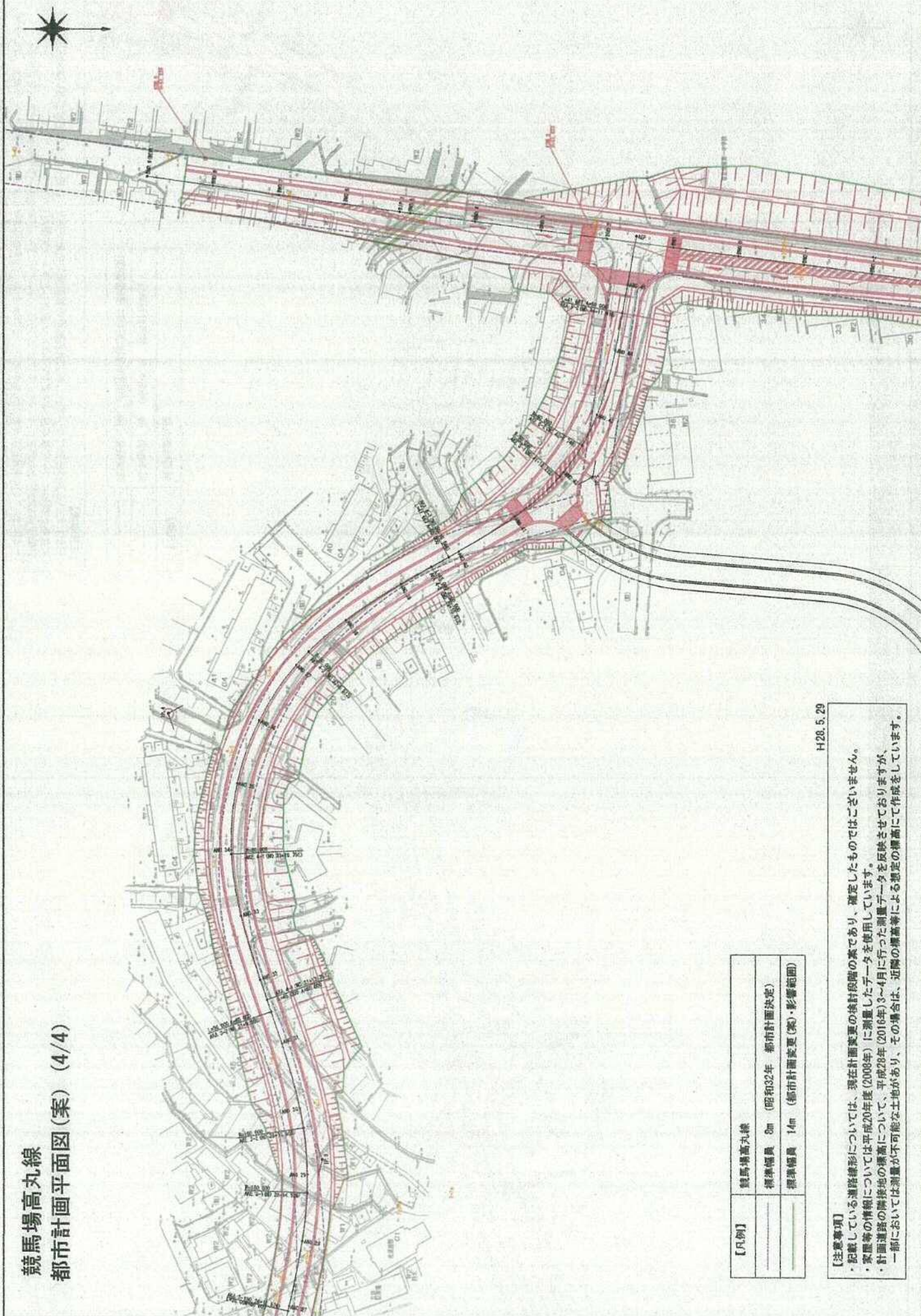
【凡例】	競馬場高丸線
——	標準幅員 8m (昭和32年 都市計画決定)
——	標準幅員 14m (都市計画変更(案)・影響範囲)

【注意事項】

- ・記載している道路線形については、現在計画変更の検討段階の案であり、確定したものではないです。
- ・家屋等の情報については平成20年度(2008年)に測量したデータを使用しています。
- ・計画道路の隣接地の標高については、平成28年(2016年)3～4月に行った測量データを反映させておりますが、一部においては測量が不可能な土地があり、その場合は、近隣の標高等による想定の高さにて作成をしています。

H28.5.29

競馬場高丸線 都市計画平面図(案) (4/4)



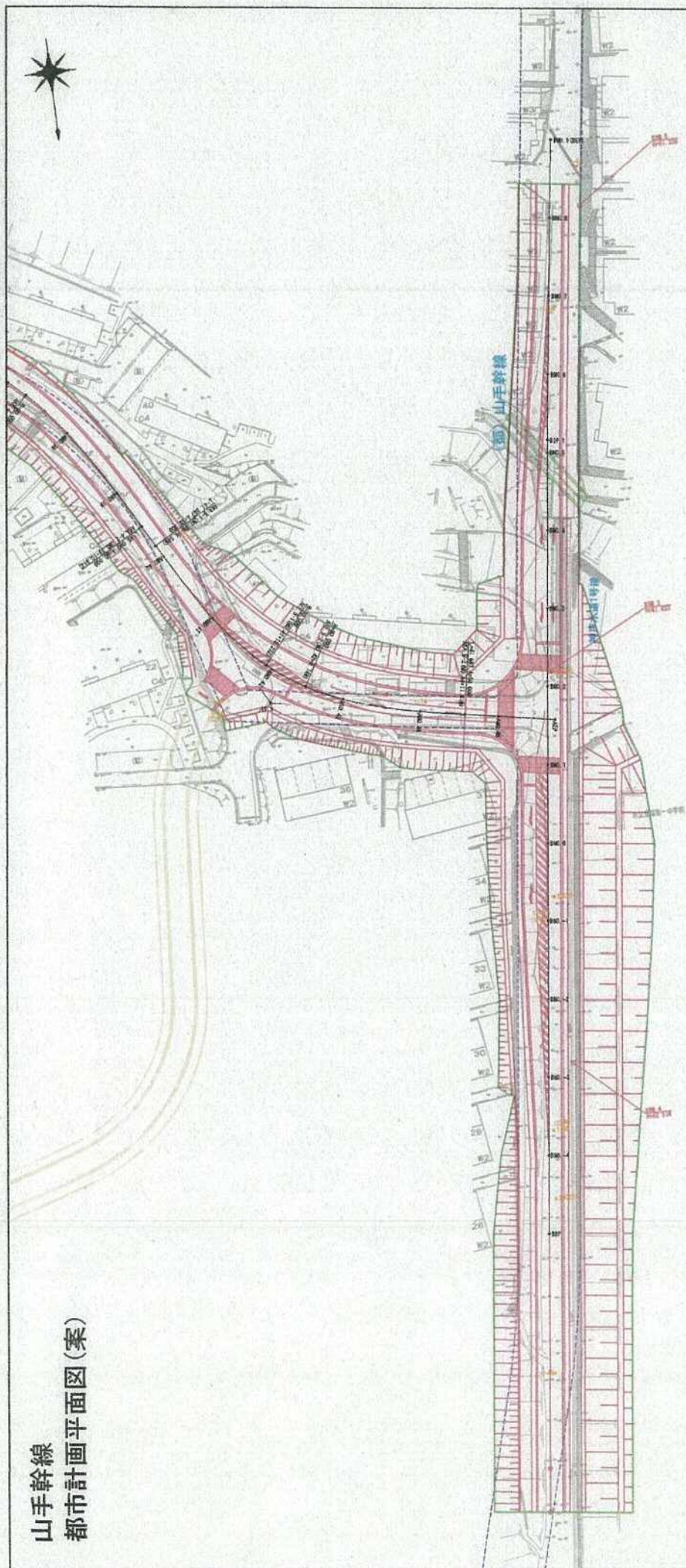
【凡例】	競馬場高丸線
	標準幅員 8m (昭和32年 都市計画決定)
	標準幅員 14m (都市計画変更(案)・影響範囲)

H28.5.29

【注意事項】

- ・記載している道路線形については、現在計画変更の検討段階の案であり、確定したものではないです。
- ・家屋等の情報については平成20年度(2008年)に測量したデータを使用しています。
- ・計画道路の隣接地の標高について、平成28年(2016年)3~4月に行った測量データを反映させておりますが、一部においては測量が不可能な土地があり、その場合は、近隣の標高等による想定の高さにて作成をしています。

山手幹線 都市計画平面図(案)



【凡例】	山手幹線
標準幅員 16m	(昭和32年 都市計画決定)
標準幅員 16m	(都市計画変更(案)・影響範囲)

【注意事項】

- ・記載している道路線形については、現在計画変更の検討段階の案であり、確定したものではないです。
- ・家屋等の情報については平成20年度(2008年)に測量したデータを使用しています。
- ・計画道路の隣接地の標高について、平成28年(2016年)3~4月に行った測量データを反映させておりますが、一部においては測量が不可能な土地があり、その場合は、近隣の標高等による想定の高さにて作成をしています。

第1回 地元説明会(2/14)で頂いたご意見についての回答

ご意見 1) 詳細が分かる図面を配布してほしい。

回 答 1) 別添のとおり「都市計画道路変更(案)」の図面を配布します。

なお、計画道路の隣接地の標高について、平成 28 年 3～4 月に行った測量データを反映させた資料となっています。

ご意見 2) 測量は過去にも行っているが、なぜ今回も行うのですか。

回 答 2) 平成 20 年度に測量を行っていますが、今回関係機関協議等を行った結果で、道路線形が変わっているところもあるため、測量が必要となります。

また、詳細な図面を作成した上で、都市計画変更協議を行うためにも、現時点で測量を行う必要がありました。

ご意見 3) 全体スケジュールについて教えてほしい。

回 答 3) 全線供用を平成 37 年度までの 10 年間で行いたいと考えています。

ご意見 4) 予算と B/C (費用便益比) はどうなっていますか。以前は 55 億円と聞いています。

回 答 4) 事業費は概算金額で約 60 億円、B/C は 1.43 と試算しています。

ご意見 5) 7 年前の意見書を 7 年放置されている。回答して頂きたい。

回 答 5) 過去に書面にてご意見等をいただきましたが、以下のとおり、文書にてご回答させて頂いております。

1. ■文書名 ; 競馬場高丸線建設計画に関しての申し入れ (H20.3)
■回答文書名 ; 競馬場高丸線建設計画に関しての申し入れについて (回答) (H20.5.7)
2. ■文書名 ; 競馬場高丸線の都市計画変更について (要望) (H20.4.24)
■回答文書名 ; 競馬場高丸線の都市計画変更について (回答) (H20.7.3)

ご意見 6) 昭和 30 年代に決めた古い決定をなぜ今頃行うのですか。

回 答 6) 都市計画整備プログラム (H21～30) に基づき、整備する優先順位を高く位置付けている本路線の整備に取り組んでいきます。

また、宝塚市は兵庫県が示した「都市計画道路網見直しガイドライン」に基づき、本路線を含む未整備の都市計画道路について、検証を行いました。その際には計画決定時の価値観にとらわれることなく、ゼロベースから新たな価値判断に基づき必要性を検討し、その路線の存続、廃止等を判断しています。その検討結果においても、競馬場高丸線につきましては仁川山手地域のまちづくりに大切な道路としてその必要性を確認しており、存続することが妥当と判断しています。

ご意見 7) 立ち退きとなる場合、どこに住めばいいのですか。計画はあるのですか。

市が生活再建まで面倒をみると言って頂きたい。

回 答 7) 移転先 (代替地) については、希望の場所、形状、面積、価格などが、それぞれの事情により異なることから、市があらかじめ代替地を用意することはできませんが、専任の市担当者がお話しを伺いながら、ご希望の地域の不動産情報などを収集し情報提供をさせていただきます。

補償金については、個々の土地の測量や家屋、工作物の詳細な調査をさせていただき、各種法令や国が示している基準に基づき、公平で適切な補償をいたします。

ご意見 8) 山手幹線と同時に整備しないと意味がない。高丸で渋滞する。

回 答 8) 山手幹線は都市計画道路整備プログラム (H21～30) にはなく、いつ整備できるかは現在お答えできませんが、今回は競馬場高丸線と合わせて、山手幹線の一部である、通称「百段階段」の区間を車が通れるように整備し、仁川高丸地域へ接続できるように検討しています。

全体の交通量について、現在より大きく増加することは予想していませんが、今後、詳細について検討していきます。

ご意見 9) 百段階段の部分を車が通れるように整備することは費用面を考えると現実的でない。高丸地域との接続を考えるのであれば、百段階段の下から、仁川団地の南端 (競馬場高丸線上) あたりに結ぶことがよいと考える。

回 答 9) ご提案されたルートでも高低差があり、整備には多くの費用がかかると考えます。
また、百段階段から宝塚第一中学校の前を通り、仁川うぐいす台へと繋がる道路を整備することも現在検討しています。百段階段を車が通れるように整備することは、競馬場高丸線と仁川高丸地域を結ぶためには、費用面、施工面を考えても、最適なルートであり、現実的であると考えます。

ご意見 10) 車が増え、早いスピードの車が通るため逆に危ない。新設道路は横断歩道ができ、高齢者にとっては危ない。

回 答 10) 本路線を整備し、現在生活道路を通っている地域内交通が本路線に振り替わるにより、生活道路の交通量は減り、歩行者の安全性は向上すると考えています。
本路線自体も、車道と歩道が分離され、横断歩道も安全に通行できます。
全体の交通量について、現在より大きく増加することは予想していませんが、今後、詳細について検討していきます。

ご意見 11) 交通量や騒音など、周辺への影響が示されていないではないか。

回 答 11) 全体の交通量について、現在より大きく増加することは予想していませんが、今後、騒音の問題と共に、詳細について検討していきます。

ご意見 12) 長期間工事をしている荒地西山線や、途中で止まっている宝塚池田線の延伸を優先して行わないのか。
また荒地西山線について阪急区間は貫通したが、まだまだ工事が残っており、用途はたっていないと知人より聞いている。

回 答 12) 1. 荒地西山線との関係について

荒地西山線は阪急立体交差部の工法変更等により、平成 22 年度からの 5 か年に集中的な事業費の執行が必要となり、競馬場高丸線の整備の進捗が遅延していました。荒地西山線の残工事はありますが、それを含めた本市の財政状況を踏まえた上で、整備プログラムの評価を行い、平成 28 年度より競馬場高丸線の事業に着手する計画としています。

2. 宝塚池田線との関係について

宝塚池田線は本市の武庫川右岸、左岸を結び他市域に連絡する道路で、通過交通に対応し、渋滞解消に資する幹線道路です。

一方、競馬場高丸線は阪急軌道による仁川地域の分断解消等、まちづくりに資する補助幹線道路です。また、現在整備を進めている荒地西山線についても逆瀬台、千種地域と平坦部を連絡する道路として位置付けています。

市内の交通渋滞を解消する幹線道路の整備も必要ですが、これと並行して安全で快適なまちづくりを資する補助幹線道路の整備も必要となります。

それぞれの課題解決に向け、効果、効率を勘案し整備すべき路線の優先順位を検討していますが、残る仁川地域の分断解消等のまちづくりを考えた場合、整備に当たっての効率性や仁川地域へのアクセスルートとしての合理性などから、競馬場高丸線が宝塚池田線の整備より優先すると考えています。

また、幹線道路網の整備としては、宝塚池田線は現状で武庫川右岸、左岸を連絡し、渡河部の渋滞解消に寄与しており、以西の整備は西宮市域への延伸も含め、山手幹線の整備の目途が見込めることが前提と考えています。

ご意見 13) 安全のためにまずは生活道路（現道）を整備すべきである。事業に対して納得できない為、土地を渡せない。

回 答 13) 1. 事業の目的について

都市計画道路は都市間の交通処理を担う幹線道路と、それを補完し地域内の交通への対応や都市空間として機能し、健全な市街化に資する補助幹線道路に区分することができます。

競馬場高丸線は補助幹線道路に位置付けられ、山手幹線や県道生瀬門戸荘線（中津浜線）のような都市間の通過交通を処理する道路ではなく、仁川山手地域の安全で快適なまちづくりのための道路です。

その効果としては、阪急軌道による地域の分断の解消に伴う日常の利便性の向上や、通学路としても利用される安全な歩行者動線の確保のほか、緊急時の活動経路として、また阪神・淡路大震災のような災害発生時における命の道として機能する道路です。

2. 生活道路（現道）の整備について

道路は幹線、補助幹線、生活道路等の種類があり、それぞれが系統的かつ段階的に結び合い機能します。最も市民生活に密着した生活道路の改善においても、幹線、補助幹線を整備し、通過交通を生活道路から排除する施策が必要となり、併せて、生活道路の拡幅や段差解消等の改良工事を行うこととなります。

仁川地域の現状から考えると、生活道路の全線的な拡幅整備等は難しく、沿道の開発時などに段階的に拡幅整備を行うとともに必要に応じ改良工事を行っていきます。

ご意見 14) 今でも競馬場開催の際、西宮への抜け道となっているが、競馬場高丸線はそれをさらに助長することになる。

回 答 14) 抜け道を助長するような路線とならないように、注意喚起の看板等、今後対策について検討していきます。

ご意見 15) 過去にもやる、やらないと話が出ては消えた。今回は本当にするのか。市は担当が変わるが住民は変わらない。図面の配布の件についてもそうだが、出来るだけオープンにしてほしい。信頼関係がうまくいかない。

回 答 15) ご指摘いただいているように今後は、出来るだけ情報をお伝えし、信頼関係の元、事業の検討を行っていただけるよう努力していきます。